

「あの子だから」 (1時間扱い)

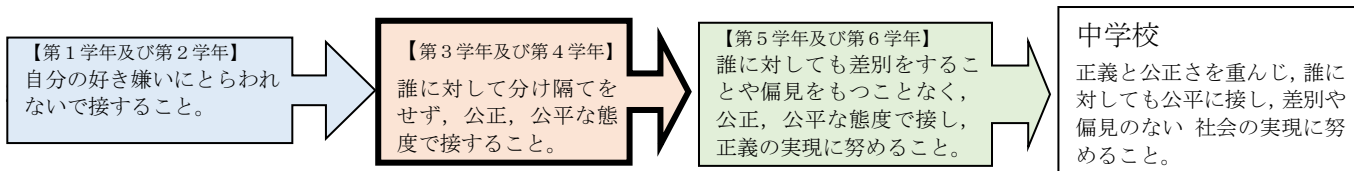
授業者 阿保 裕也

1. 道徳教育の目標・特別の教科道徳の目標・(本学習の内容項目に対応した) 学年段階における目標・本学習の目標・育成を目指す資質・能力を踏まえた単元の評価規準

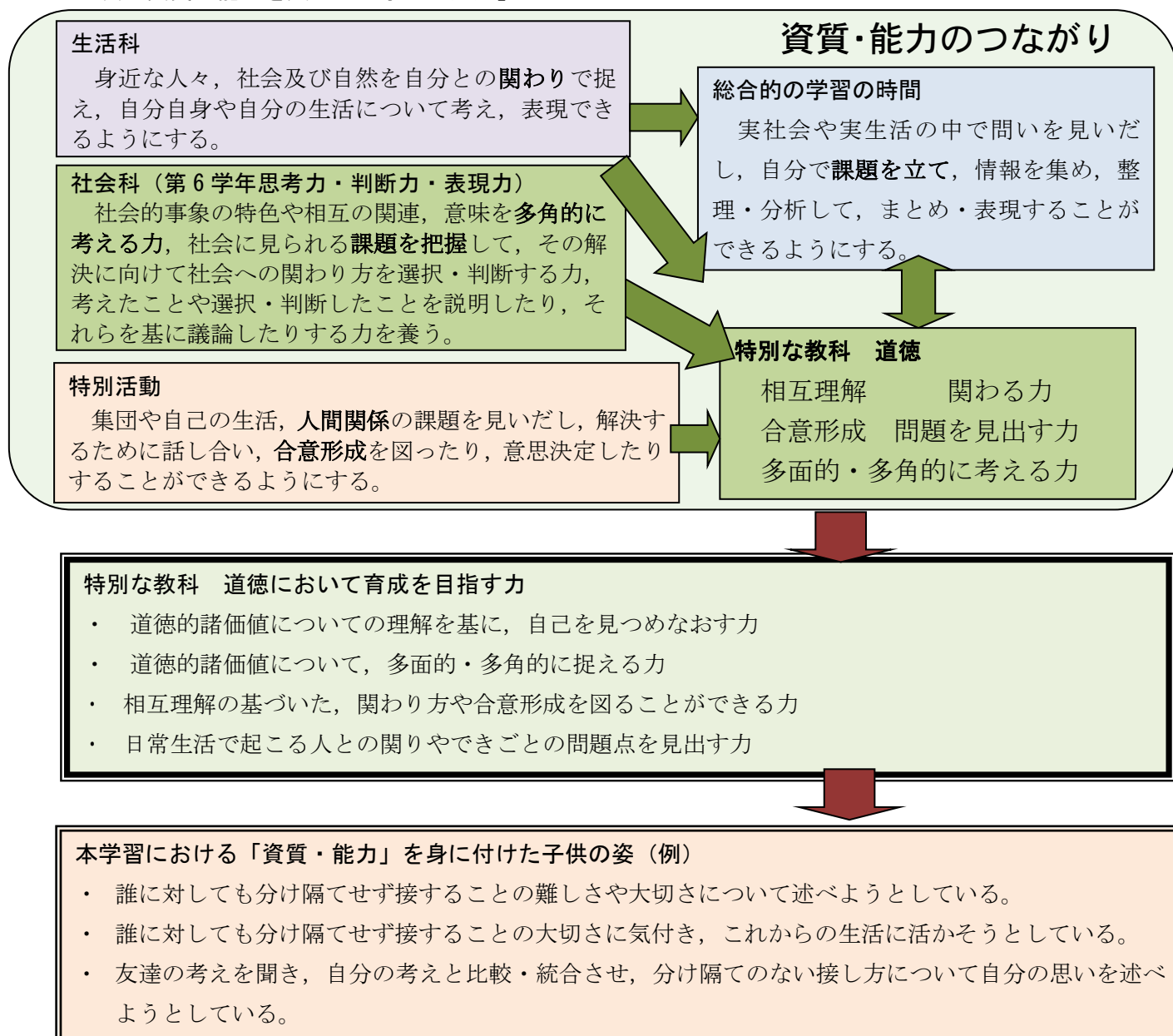
特別の教科道徳の目標	第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
	特別の教科道徳の見方・考え方
	様々な事象を、道徳的諸価値の理解をもとに自己との関わりで多面的・多角的に捉え、自己の生き方について考えること。 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心を持ち、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図るとともに、平和で民主的な国家及び社会の形成者として、公共の精神を尊び、社会及び国家の発展に努め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し未来を拓く主体性のある日本人の育成に資することとなるよう特に留意すること。
中学年段階	本時の内容項目
	C 公正、公平、社会正義
	<p>[規則の尊重] 約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。</p> <p>[公正、公平、社会正義] 誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接すること。</p> <p>[勤労、公共の精神] 働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くこと。</p> <p>[家族愛、家庭生活の充実] 父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくること。</p> <p>[よりよい学校生活、集団生活の充実] 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくること。</p> <p>[伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度] 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつこと。</p> <p>[国際理解、国際親善] 他国の人々や文化に親しみ、関心をもつこと。</p>
本学習のねらい	登場人物の言動や心情、これからの生き方について考え、話し合うことを通して、分け隔てなく関わることの難しさや大切さに気付き、これからの生活で活かし、よりよく生きようとする心情を育む。
	<ul style="list-style-type: none"> 誰に対しても分け隔てせず接することの難しさや大切さに気付いている。 話し合いを通して、誰に対しても分け隔てせずに生活する態度について多面的・多角的なものの見方で考えようとしている。 誰に対しても分け隔てせず接することの大切さに気付き、これからの生活に活かし、よりよく生きようとしている。

《本時の内容項目について》

本時で取り上げる道徳的価値(内容項目)は新学習指導要領で新しく追加されたC「公正、公平、社会正義」であり、第3学年及び第4学年では、「誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接すること。」となっている。各学年段階は以下のようになっている。



(1) 資質・能力を支える「学びの文脈」



(2) 「主体的・対話的で深い学び」を保障する手立て

- 手立て1 **自分事として考えられる課題・発問の工夫**

子供が課題を解決していく必要感や必然性を感じながら，課題を追究していくことができるよう，課題作りや発問の工夫を行う。

学習の中で子供たちの対話の中で生まれた問いを学習の課題として設定したり，発問として投げかけたりすることで，主体的に学習に臨むことができると考える。

○ 手立て 2 立場の明確化で対話の活性化を図る

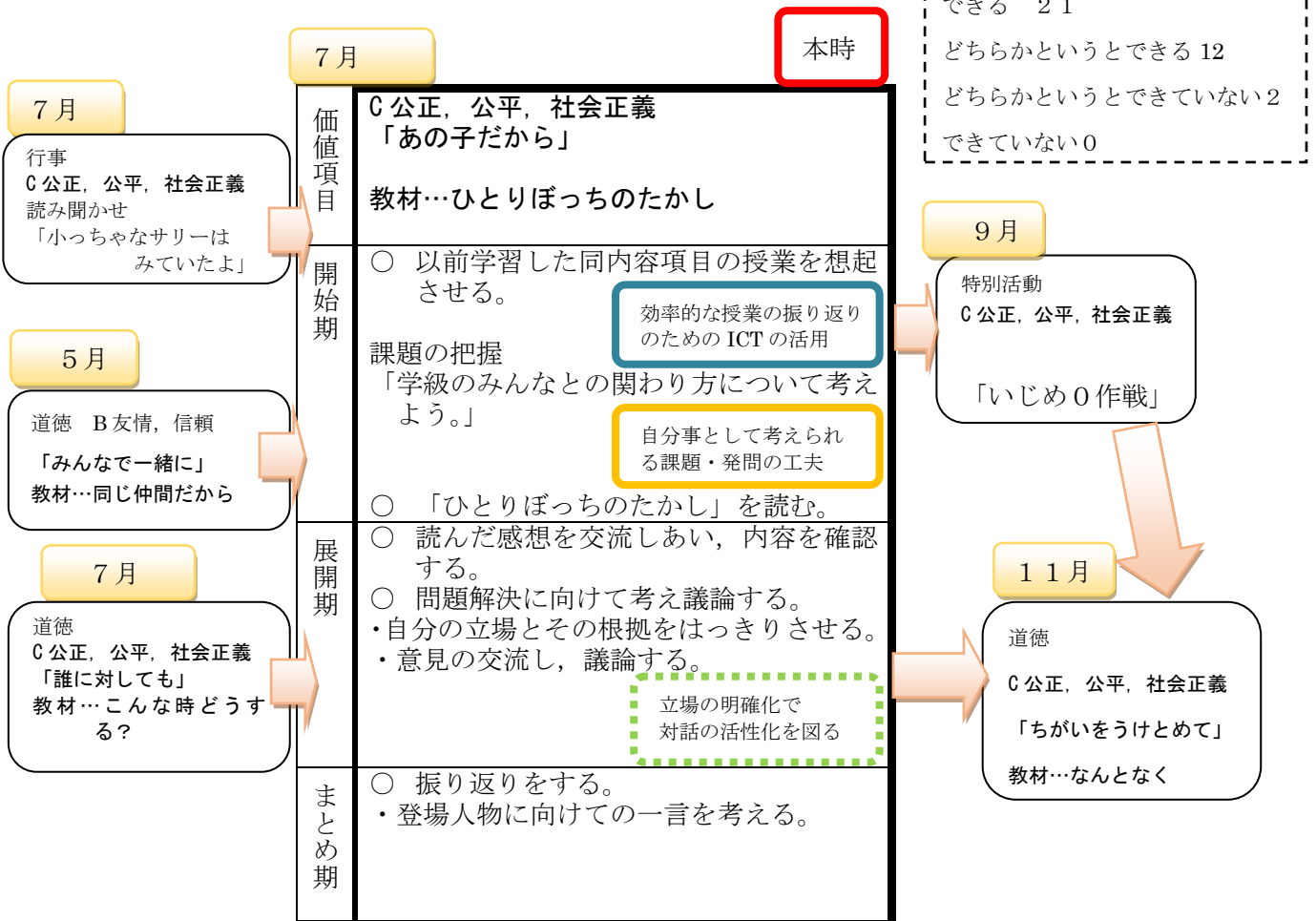
主発問については、子供たちから出された複数の意見から自分の考えに近い立場を選択し、黒板にネームプレートを貼ることで、視覚化を図り、自主的な対話を促す。立場を明確化させることで、違う立場の意見を求めて意見の交流を活発化させる狙いがある。また、同じ立場でも根拠が異なることもあり、意見の比較や関連付けも図りやすい。

○ 手立て 3 効率的な授業の振り返りのための ICT を活用

学習の板書を写真に記録したものを配付したり、掲示したりし、関連する授業を行う際、これまで学習を想起するために活用する。

ワークシートへの記入の時間を短縮し、対話の時間を確保するとともに、自分たちの考えがまとめてある板書が手元にあることで自らの考えの変容を知ることができ、学習への意欲を高め、主体的に学習に取り組むことができるよう支援する。

3. 学習のグランドデザイン



4. 本時案

登場人物の言動や心情や、これからの生き方について考え、話し合うことを通して、分け隔てなく関わることの難しさや大切さに気づき、これからの生活で活かし、よりよく生きようとする心情を育む。	
学習活動 (○) と子どもの姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
<p>○ 以前学習した「こんな時どうする？」について想起する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>人によって態度をかえると、相手にいやな思いをさせたりするんだっただね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>周りで見ている人もいやな気持ちになるし、いじめにつながったりするんだっただね。</p> </div> </div> <p>課題を把握する。</p> <div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 60%; text-align: center;"> <p>学級のみんなとの関わり方について考えよう。</p> </div> <p>○ 「ひとりぼっちのたかし」を読む。</p>	<p>☆ <u>以前学習した同内容項目の様子を想起できるように、板書の画像を提示する。また、状況に応じて道徳フェイルを見るよう促す。</u> 手立て3</p> <p>☆ <u>必要感を感じながら、課題を追究していくことができるよう、子供たちとの対話から課題設定を行う。</u> 手立て1</p>
<p>○ 読んだ感想を述べ合いながら、内容を確認する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>たかしとひろしで態度がちがうね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>最後にぼくはすごくなやんでいるね。</p> </div> </div> <p>㊦ 「ぼくはまよっています。もし、自分がぼくだったらどうしますか？」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>A【二人で食べる】</p> <p>かわいそうだし、二人で食べるよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>B【グループと食べる】</p> <p>自分も仲間外れにされたくはないよ。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>ひとりぼっちにするのはまちがっていると思う。ぼくは一緒に食べるよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>ひとりぼっちはかわいそう。でも、みんなの意見に反対するには勇気があるな。</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">C【みんなに立ち向かう】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>いやなところがあっても、ひとりぼっちにするのはまちがっている。わかってもらえるようにみんなと話すよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>ほかのグループに声をかけて、もっと仲間をふやしていくよ。このままにはおけないよ。</p> </div> </div> <p>○ このクラスでひとりぼっちができないようにするためにどんなことができるかを考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>その人のよいところを見つけ、みんなですごせるようにしていこうよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>その人だけ外したりしないで、みんなで考えたり、行動できるようにしたいな。</p> </div> </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%; text-align: center;"> <p>仲間の意見に流されない みんなと一緒に (公平)</p> </div>	<p>◇ 話し合いを通して、誰に対しても分け隔てせずに生活する態度について多面的・多角的なものの見方で考えようとしている。 評価</p> <p>☆ 内容の読み違いがないよう、子供たちと対話しながら内容を確認していく。また、登場人物の気持ちや問題点を整理していく。</p> <p>☆ <u>子供たちから出された意見の中から自分の考えに近い立場を選択し、黒板にネームプレートを貼ることで、視覚化を図り、自主的な対話を促す。</u> 手立て2</p> <p>☆ 子供たちがそれぞれの考え方が比較できるよう、構造的な板書を心掛ける。</p>
<p>○ 今日の学習を振り返る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>ひとりぼっちを作らないようにみんなで協力していきたいな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>まわりに流されないで大事なことはしっかり言えるようにしていきたい。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>仲間外れはこわいけど、みんなで立ち向かえばわかってもらえるよ。</p> </div>	<p>☆ 誰に対しても分け隔てせず接することの大切さに気づき、これからの生活に活かし、よりよく生きようとしている。 評価</p>